

様式第4号・その1（第7条関係）

令和 8 年 3 月 17 日

伊万里市議会議長 中山 光義 様

氏名 塚本博幸



令和7年度 伊万里市政務活動費収支報告について

伊万里市政務活動費の交付に関する条例第5条第1項により、別紙のとおり令和7年度政務活動費収支報告書を提出します。



様式第4号・その2（第7条関係）

令和7年度 政務活動費収支報告書

議員名 塚本 博幸

1 収 入 政務活動費 250,000 円

2 支 出

項 目	金 額 (円)	備 考
研究研修費		
調 査 旅 費	98,220 /	会派視察
資料作成費		
資料購入費	58,861 /	自治体議員活動総覧・新聞購読
広 報 費	122,760 /	つかもと博幸市政だより2回発行
広 聴 費		
人 件 費		
事 務 所 費		
その他の経費	29,982 /	インターネット・携帯電話利用料
合 計	309,823 /	

3 残 額 -59,823 / 円

(注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

様式第5号・その2（第7条関係）

（1調査1枚作成）

調 査 旅 費

（支出明細書）

調 査 目 的	1. 長岡市 1) スマート農業振興 2) 果樹施設見学 2. 新潟市 1) 空き家対策 2) 移住・定住施策
調 査 地	新潟県長岡市・新潟市
調 査 年 月 日	令和7年 11月 11日～令和7年 11月 13日 (宿泊の有無 ☒ 有 ・ 無)
調 査 結 果	別紙のとおり
経 費 明 細 書	
旅 費	98,220円
そ の 他	
合 計	98,220円

政 務 活 動 費 旅 費 計 算 書

旅行者 山口 常人 議員、塚本 博幸 議員、井手 勲 議員

期 間 令和7年11月11日（火）～令和7年11月13日（木）

行き先 ①あぐらって長岡、②新潟市

①スマート農業振興について
 ②空き家対策について
 内 容 移住・定住施策について

備 考

※網掛けは、領収書添付

(単位：円)

項 目		金 額	摘 要
運 賃		1,560	佐賀～福岡空港 ※伊万里～佐賀は議会バス利用可
		60,120	福岡空港～新潟空港（往復）
		2,840	新潟空港～長岡
		2,370	長岡～白山
		660	白山～新潟空港
		2,070	福岡空港～伊万里
宿泊料		26,200	13,100円×2泊
交通費	市	2,400	800円×3日
計		98,220	

※旅費計算につきましては、伊万里市職員等の旅費に関する条例に基づき、最も経済的な経路及び方法により算出することとなっておりますので、申し出があった経路とは異なる場合があります。

領 収 証

No 026454

塚本 博幸

様

2025 年 11 月 10 日

金 額			4	千			円
			6		1	2	0

上記の金額正に領収致しました
但し 11.13 航空券代

現 金	
小切手	
振 込	



あなたの一番を目指して!

株式会社 西九州ツリー

□本 社 佐賀県伊万里市 718-1
TEL: 0955-25-9001
日松浦支店 長崎県松浦市志佐町里免384-1
TEL: 0956-72-3377 FAX: 0956-72-5570

担当者印



研究研修 調査 報告書

伊万里市議会議長 中山光義 様

下記のとおり 研究研修 調査 を行いましたので報告します。

令和7年12月13日

氏名 塚本博幸

実施年月日	自 令和7年11月11日 至 令和7年11月13日	3日間	宿泊 有 無
場所	1. 新潟県長岡市 2. 新潟県新潟市		
目的	1. 長岡市→スマート農業の振興について 2. 新潟市→空き家対策について		
内容感想等	長岡市（以下のレジュメに対し、説明資料あり） ➢1. スマート農業ワークショップ テキスト 2. ふるさと体験農業センター 農の駅あぐらって長岡 (1) ICT/IOTを活用したスマートアグリ推進事業の導入背景と主な取組みについて ①担い手不足、高齢による離農者の増加、新規就農者不足等を解消するために、スマートアグリ推進に着手した。 ②農業経営体：3,795経営体（2,020農林業センサス） 事業対象農業者：212件（平場15ha以上、中山間地10ha以上） ドローン・自動操舵等導入している経営体 R7で約6割（R4：2割） 効果：1) 導入農家への作業委託の増加（ドローンによる施肥・防除） 2) 女性による作業の増加・作業時間短縮（自動操舵） 3) ICT：情報通信事業の導入 （次世代園芸施設でのトマト栽培管理システム） IOT：センサーを使った技術の導入 （水門センサー、土壌センサー、ファーム） 補助金：R6年35件・R7年33件 ドローンが6～7割、自動操舵システム 可変施肥田植え機、ラジコン草刈り機 (2) 中山間地域でのスマート技術導入の課題とそれを克服するための支援について ①面積の小さい圃場は、トラクターの自動操舵システムは困難 ②天水田で水不足のような圃場は水位センサーの設置は不向き ③中山間地では、ため池やファームポンドに水路センサーを設置し、水位の把握に努めている事例もある		

(3) 農の駅での農家向け研修への参加率と研修後のフォローアップ体制、及び若手農家の定着率やその成果について

①補助金の交付を受けた農業者には、当施設で新たなスマート技術をしってもらう研修を実施

②研修を受けて導入を検討する農業者へは、補助事業の紹介等を行う

③若手農家の定着は何とも言えない

(研修等の成果とは言えないが、長岡市では毎年20人～30人の新規就農者がおり、離農は少数と認識している)

(4) IOTセンサー寄贈のような民間連携の事例で、行政の役割と今後の拡大計画があれば教授願う

①これまでは長岡市内でスマート技術の普及を推進してきた。前述の通り、担い手への普及率は6割ほどとなってきたことから、今後は普及の推進を図りつつも、スマート技術が農業経営にどのように貢献するのか、単なる省力化、効率化だけではなく、経営面においても検証を進めて市内の農業者と情報を共有していく。

(5) 伊万里市のような中山間地域で共有可能な成功要因や失敗事例があれば教授ください

①初めから無理と思っている農家の方もいるかもしれないが、先ずは実際に体験してもらうことで、使えるかと思わせることが大事。

②棚田などの典型的な中山間地でも活用できるような、スマート機器の発掘が必要。

●感想

この地でも、担い手不足、高齢による離農者の増加、新規就農者不足が大きな課題であったが、一人の強いリーダーシップで、国の補助金や地元民間事業からの寄贈も活用して、最先端技術を駆使して大きな成果をあげられていることを知り得た。

また、後半は農業体験として、温室棟で栽培されているミニトマトの栽培状況の見学やラジコン草刈り機による実演を体験でき、大変有意義であった。

本市も課題は共通で、一部の似通った施策を手探りでやっている農家もあるようであるが、確実な浸透には至っていないようである。

また、中山間地では横展開は困難ではないかとも感じる。いずれにしても、この様な状況ではあるが、今後、この視察をムダにしないように、具現化に向けて模索していく。

新潟市（以下のレジュメに対し、説明資料あり）

(1) 新潟市空家等対策計画の策定背景と主な取組方針について

① 基本的方針

- 1) 空家等の所有者による管理の原則
- 2) 地域（市民）・関係団体との連携
- 3) 市は危険性回避のための必要最小限の措置を実施

② 空き家対策の取り組み状況（詳細は資料1参照）

- 1) 不動産、法務、建築など関係13団体と連携協定を締結
- 2) 関係団体との共催により個別相談会・対策セミナー開催
➢ 市政さわやかトーク宅急便を通じて周知・啓発
- 3) 空き家活用推進として、福祉活動活用タイプ、地域活動活用タイプ、移住定住活用タイプ、住替え活用タイプ、跡地活用タイプに層別され、早期の対応が可能である
- 4) 空き家啓発パンフレットなどによる周知・啓発
- 5) 管理不全な空き家への対応
- 6) 空き家の発生を抑制するための特例措置

③ 新潟市空家等対策計画 第2期概要（詳細は資料2参照）

- 1) 第1章 計画の目的～計画の期間
- 2) 第2章 新潟市の空家等の現状と課題
- 3) 第3章 空家等対策の基本的方針
- 4) 第4章 空家等対策の取組方針
- 5) 第5章 空家等対策の推進方策

(2) 空き家・空地対策協議会との連携で実施されている隣地集約事業の具体例と成果（詳細は資料3参照）

① 事業名：新潟市空き家空地対策協議会の構築と中間所有組織による隣地集約 ➢ NPO団体

② 事業概要：不動産団体や有資格者で空き家空地対策協議会を構築し、新潟市と連携する。空き家の減戸を目的とした隣地集約事業。空家の除却を希望する市民に、協議会として跡地活用迄の相談に応じ、所有者同意なら解体除却を支援する。

(3) 空き家の調査・把握方法と、所有者へのアプローチのプロセス（詳細は冊子 新潟市空き家ハンドブック参照）

- ① 空き家の現状と課題
- ② 管理不全な空き家にしないために
- ③ 空き家を所有することになったら

(4) 空き家が増えると景観の悪化、犯罪への利用、ゴミの不法投棄や火災へのリスクもある。リスク解消に向けた対処法

- ① 冊子 新潟市空き家ハンドブック参照
- ② 冊子 住まいのエンディングノート参照

(5) 現時点の課題と今後の進め方（詳細は資料4参照）

- ① 人口減少等により、今後も空き家の増加が見込まれるため、管理不全な空き家への対応強化をはじめ、所有者不在の空き家への対応、活用や解体の更なる促進などに向けた施策を検討していく。

(6) 空き家活用推進事業の移住・定住タイプの活用状況と移住者

	の定着率（詳細は資料5・6・7参照） ①空き家活用推進事業と、これまでの制度の変遷 ②令和7年度 新潟市空き家活用推進事業を詳細に紹介 ●感想 人口約78万都市の政令指定都市 新潟市。 地勢はおおむね平たん地で、水田に代表される広大な農地、河川・潟湖などの水辺、国立公園にも指定されている山と海、緑多い里山などの豊かな自然環境に恵まれた 新潟市を訪れた。 今回テーマは空き家対策であるが、大都市ならではの工夫や心づかいが垣間見える。 ①他人事ではない空き家の話➤新潟市空き家ハンドブック ②新潟市への移住・定住に必要な情報を一冊にまとめたガイドブック➤ハッピーターンマガジン ③安心して未来へつなぐ➤住まいのエンディングノート 以上の3冊を熟読すると、安心して新潟市に住める・住みたいと思う、安心感に駆られた。 本市にも同様の視点で作成した、様々な情報紙などあるが少し時間を掛けて、本市の不足部分や優れた部分を検索し必要に応じ、今後の活動に反映できればと思っている。
--	--

※資料は翌年度から5年間各自で保管する（伊万里市政務活動費の執行に関する運用方針2-(1)）

様式第5号・その4（第7条関係）

（年間分）

資 料 購 入 費

（支出明細書）

経 費 明 細 書			
項 目	内 容	金 額 (円)	備考
図 書	自治体議員活動 総覧	55,000	議員NAVI plus
月 刊 誌 等	誌名		
新 聞 購 読 料	新聞名		
	伊萬里新聞	3,861	
家庭用新聞名	佐賀新聞		経費に含まない。(第1紙)
そ の 他			
合 計		58,861	

領 収 証

塚本 博幸

様

金額

¥5,000 円

ただし

議員NAVI Plus

ほか商品代金

として

この金額には消費税および地方消費税が含まれております。

上記の金額領収いたしました。

2025年04月28日

収 入

印 紙

山2-11-17

社

田中

領 収 証

塚本 博幸

様

金額

¥5,000 円

ただし

議員NAVI Plus

ほか商品代金

として

この金額には消費税および地方消費税が含まれております。

上記の金額領収いたしました。

2025年05月28日

収 入

印 紙

山2-11-17

社

田中英

領 収 証

塚本 博幸

様

金額

¥5,000 円

ただし

議員NAVI Plus

ほか商品代金

として

この金額には消費税および地方消費税が含まれております。

上記の金額領収いたしました。

2025年06月30日

収 入

印 紙

山2-11-17

社

田中英

領 収 証

塚本 博幸

様

金額 ¥5,000 円

ただし

議員NAVI Plus

ほか商品代金

として

収 入
印 紙

この金額には消費税および地方消費税が含まれております。

上記の金額領収いたしました。

2025年07月28日



12-11-17

田中

領 収 証

塚本 博幸

様

金額 ¥5,000 円

ただし

議員NAVI Plus

ほか商品代金

として

収 入
印 紙

この金額には消費税および地方消費税が含まれております。

上記の金額領収いたしました。

2025年08月28日

〒10
東京
第一
代表



11-17

中英弥

領 収 証

塚本 博幸

様

金額 ¥5,000 円

ただし

議員NAVI Plus

ほか商品代金

として

収 入
印 紙

この金額には消費税および地方消費税が含まれております。

上記の金額領収いたしました。

2025年09月29日

〒10
東京
第一
代表



11-17

中英弥

領 収 証

塚本 博幸

様

金額 ¥5,000 円

ただし

議員NAVI Plus

ほか商品代金

として

この金額には消費税および地方消費税が含まれております。

上記の金額領収いたしました。

2025年10月28日

収 入
印 紙

〒10
東京
第一
代表

11-17

中英弥

領 収 証

塚本 博幸

様

金額 ¥5,000 円

ただし

議員NAVI Plus

ほか商品代金

として

この金額には消費税および地方消費税が含まれております。

上記の金額領収いたしました。

2025年11月28日

収 入
印 紙

〒10
東京
第一
代表

11-17

中英弥

領 収 証

塚本 博幸

様

金額 ¥5,000 円

ただし

議員NAVI Plus

ほか商品代金

として

この金額には消費税および地方消費税が含まれております。

上記の金額領収いたしました。

2025年12月29日

収 入
印 紙

〒10
東京
第一
代表

11-17

中英弥

領 収 証

塚本 博幸

様

金額

¥5,000 円

ただし

議員NAVI Plus

ほか商品代金

として

この金額には消費税および地方消費税が含まれております。

上記の金額領収いたしました。

2026年01月28日

収 入

印 紙

〒100
東京
第一
代表

11-17

中英弥

領 収 証

塚本 博幸

様

金額

¥5,000 円

ただし

議員NAVI Plus

ほか商品代金

として

この金額には消費税および地方消費税が含まれております。

上記の金額領収いたしました。

2026年03月02日

収 入

印 紙

〒100
東京
第一
代表

11-17

中英弥

振替払込請求書兼受領証

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

口座記号番号	0	1	7	3	0	0	通常払込 料金記入 者 負担
				3	8	4	
加入者名	藤 泰治 (伊萬里新聞)						
金額	千	百	十	万	千	百	十 円
					4	2	2 0
ご依頼人	塚本博幸 様						
料 金				日 附 印			
備 考				現金扱			
	(77073)			N94170001			

この受領証は、大切に保管してください。

R7.5~R8.4月分
R8.4月分は対象外のため、
3861円を計上

様式第5号・その5（第7条関係）

（1回1枚作成）

広 報 費

（支出明細書）

広 報 内 容	つかもと博幸 市政だより第5号		
実施年月日	令和 7 年 8 月 7 日		
経 費 明 細 書			
項 目	内 容	金 額 (円)	備 考
活 動 報 告 費 会 費	会場借上料		
	人 件 費		
	茶 菓 子 代		
	そ の 他		
印 刷 費 等	印 刷 代	61,380	1,300部
	コ ピ ー 代		
	用 紙 代		
	消 耗 品		
	そ の 他		
郵 送 代	封 筒 代		
	は が き 代		
	切 手 代		
そ の 他			
合 計		61,380	

TACHIBANA TACHIBANA T 領 収 証 ANA TACHIBANA TACH

つかもと博幸

様

令和 7 年 8 月 7 日

金 額		百万			千		円
			¥	6	1	3	80

但し、印刷代として



☒ 現金 ☐ 小切手 ☐ 手形 ☐ 相殺 ☐ 振込

上記の金額領収致しました。

内 税率	税抜金額
10 %	¥55800
	消費税額
	¥5580

有限会社 立

代表取締役 松

〒848-0027 佐賀県伊万里市
TEL0955-23-2886/FAX0955-23-2758
登録番号 T7300002008616

担当

TACHIBANA TACHIBANA TACHIBANA TACHIBANA TACHIBANA TACH

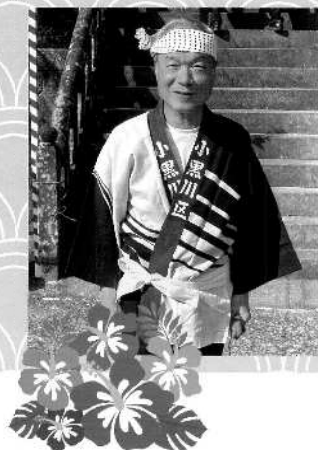


伊万里市議会ご報告 市政だより

発行所：伊万里市議会議員 **つかもと博幸** 後援会事務所
〒848-0125 伊万里市黒川町小黑川 456-1
TEL ■■■■■ 0955-27-2355



暑中お見舞い申し上げます



本年の梅雨明けは、観測史上最短の6月27日と発表されました。真夏の暑さが早々に訪れたことで、今後も天気の変や猛暑に十分注意しながら夏本番を迎えることになります。ご自愛くださいませ。

私は、皆様方の暖かいご支援により市政の場に送り出されています。早いもので折り返し点を過ぎ、3年目を迎えました。

今後も、『初心忘るべからず』を胸に刻み、皆様の生声に真摯に耳を傾け、誠心誠意活動してまいりますので、引き続きご指導、ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

最後になりますが、皆様方のご健康とご多幸をご祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

2025 盛夏

令和7年 第2回定例会 6月議会が開催されました

令和7年第2回定例会が、6月9日から25日までの17日間、執り行われ、上程された議案は、すべて可決、および承認しました。

尚、詳細は8月に配布されます「市議会だよりNo. 94号」をご覧ください。

1. 予算規模（一般会計）

令和7年度現計予算額	343億	3,394万5千円
令和7年6月補正額	5億	1,039万3千円
令和7年6月補正後額	348億	4,433万8千円

2. 基本方針

今回の補正予算は、予防接種事業をはじめ、交通安全施設整備事業、防災活動事業、東山代小学校・コミュニティセンター等複合施設整備事業などを行うため、増額しました。

所属する委員会・会派・各種協議会が決まる

市議会の折り返し点を迎え、委員会、会派、各種協議会等の選出がなされましたので報告します。

1. 委員会：議会運営委員会
2. 常任委員会：文教厚生委員会
3. 会 派：幸風会
(代表者：山口常人、前田久年、井手勲、塚本博幸)
4. 各種協議会：(1)伊万里・有田地区医療福祉組合
(2)伊万里市暴力追放推進市民会議
(3)伊万里市部落差別の解消の推進及び人権擁護委員会

5. その他の協議会：議会DX推進プロジェクトチーム
委員会・会派の紹介は8月配布の「市議会だよりNo. 94号」をご覧ください。

諸活動につきましては、今後適宜ご報告させていただきます。

国道204号 黒塩信号～ 瀬戸町 本瀬戸信号間の 夕方の渋滞が少し緩和されました！

黒川町七ツ島工業団地で操業の名村造船所を含むグループ各社の帰宅時、七ツ島大橋信号→黒塩信号→瀬戸町本瀬戸信号間、並びに東山代町伊万里団地近郊で操業のSUMCOを含む各社の帰宅時、伊万里湾大橋信号→黒塩信号→瀬戸町本瀬戸信号間にて、渋滞及びノロノロ運転が恒常的に発生している状況に加え、時折り追突事故も発生している。

渋滞緩和と交通事故防止、さらには生産性向上に向け瀬戸町本瀬戸信号機の時間調整を、県議の力もお借りして伊万里警察署にお願いしました。

＝伊万里警察署からの対策通知＝

瀬戸町本瀬戸信号機の時間調整を行うとの朗報届く！

1. 対策実施日：令和7年6月6日(金) 17時～運用開始
2. 対策内容

・信号機のトータル時間は変更せず、時間限定の時差信号

- 1) 時差信号の時間帯：平日の17時～18時の1時間限定
- 2) 信号機の時間
→上り線（黒川→伊万里方面の信号） 48秒→63秒
→下り線（木須バイパス→黒川方面の信号） 48秒→33秒

3. 効果の確認

- 1) 名村造船所正門前～瀬戸町 本瀬戸信号 通過平均時間 25分→17分
- 2) SUMCO側～瀬戸町 本瀬戸信号 通過平均時間 11分→7分



◀時間限定ながら時差信号の調整が実施された、瀬戸町本瀬戸交差点の信号機。貴重な時間帯ですが、あせらずに安全運転で！お気をつけて！

総括：各企業様の帰宅時間が集中する時間帯に対し、十分な対策効果ではありませんが、お仕事でお疲れの皆様方の交通安全や定時性、経済性に“少しは役に立った”と感じていただければ幸いです。

私の一般市政質問と執行部答弁

1. はり・きゅう施術助成の充実について

質問：助成制度の導入目的と導入時期は。

答弁：（市民交流部長）被保険者の経済的負担を軽減し、福祉の向上及び健康の保持を図ることを目的に、国民健康保険では昭和43年4月から、後期高齢者医療制度では平成20年4月からスタートさせている。

質問：施術1回当たりの助成金額と年間限度枚数（回数）は。

答弁：（市民交流部長）施術1回につき890円を助成し、助成限度回数は、国民健康保険者は年間40回、後期高齢者には年間12回支給している。

質問：直近の後期高齢者の利用状況は。

答弁：（市民交流部長）被保険者数9,245人のうち、助成券の申請を行われた方は年間188人で、申請割合は2.0%である。申請枚数の平均は11.3枚で、利用されたのは平均で5.1枚と申請上限枚数の2分の1を下回っている。

質問：県内10市の中で伊万里市は最少の助成回数である。年間助成限度回数を12回から他市並みの24回に増やせないか。

答弁：（市民交流部長）平均の利用回数が5.1回と上限回数の2分の1以下という状況であり、当面は現行の上限回数としたい。

質問：後期高齢者と言っても、労働の必要に迫られて動かざるを得ない方々があられ、限度回数の引き上げを望む声は強い。今後、多くの市民の皆様が制度をご活用いただき、強いては助成限度回数を増やしてもらいたいが、今後の計画は？

答弁：（市民交流部長）まずは、市の広報誌及びケーブルテレビ等で周知を行い、利用回数を増加させたい。

2. 地域計画策定後の今後の活動について

質問：昨今の農業を取り巻く環境は高齢化や後継者不足等に加え、頻発する自然災害や農業資材の高騰など、多くの課題に直面している。今後、10年後に目指すべき農地利用の姿を地図に落とし込む地域計画を策定されたが、感じた課題や気付きはあるか。

答弁：（建設農林水産部長）どの集落も担い手不足や有害鳥獣被害に悩んでおり、地域の様々な課題を肌で感じた。また、地域によっては集積率に大きな差があることも分かった。それぞれの地域の実情に合ったきめ細かな支援を考えていきたい。

質問：地域計画は作成することが目的ではなく、今後実効性を高めることが狙いである。地域計画の実践者は市民であることから、地域計画の認知度を高め市民参加を推進するために、どのような周知を行い、計画の実践をフォローしていくのか。

答弁：（建設農林水産部長）佐賀県の集計では、2050年の農業者は5千人程度となっており、2020年度と比較して75%も減少する見込みである。地域計画の実践に当たっては、次の農業を担う世代をはじめ非農業者や女性の参画も不可欠であると考えている。今後の継続した協議に当たっては、集落の代表者に対し幅広い対象者の参加を呼び掛けるなど市民の参加を推進していきたい。

3. 多文化共生について

質問：佐賀県で暮らす在留外国人は、2024年度7月、初めて1万人を超えた。伊万里市における現時点の在留外国人の人数と技能実習、特定技能の人数はどのくらいか。

答弁：（市民交流部長）在留外国人の人数は本年5月末時点で900人。そのうち技能実習生は400人、特定技能が294人である。

質問：今後、特定技能2号への転換で家族帯同での移住が可能になり家族との生活が多くなる中、市内学校での学習支援、文化的配慮をどう行うのか。

答弁：（教育長）現在、市内の小中、義務教育学校においては、4校21名が通学しており日本語担当教員の巡回指導を行っている。また、日常生活においても文化の違いから配慮が必要な部分が多々あるため、必要に応じて生活支援員を配置している。

質問：子ども、配偶者に対する移動手段も含めた周知と日本語教育、地域住民との交流やごみ出しなど、生活上のルールをどう行うのか。

答弁：（市民交流部長）地域日本語教室、オーサム伊万里の取組の一環として、バスの乗り方教室を開催し、実際に路線バスに乗って、時刻表の見方や運賃の払い方など、乗り方を体験してもらう事業を実施している。また、市の多文化共生マネージャーなどが、企業などへ向き、ごみの出し方など、伊万里で生活するために必要な日本社会でのルールについて、体験を交えながら、正しい知識を身につけていただける取組を行っている。

質問：外国の方にとって居心地がよく、「伊万里に住んでみたい」、そして「伊万里に住んでよかったなあ」と思ってもらうための、市長の考えを問う。

答弁：（市長）在留外国人労働者は、地域経済を維持していくために不可欠である。伊万里市に住んでいただいている在留外国人については、伊万里市民と市と等しく、サービスが受けられる体制の整備は必須である。今後、必要な施策を検討して、市全体でしっかり取り組んでいきたい。

大切なふるさと行事 黒川町 祇園祭 開催される！

毎年恒例の黒川町祇園祭が7月15日に開催されました。本年は酷暑の中、17時に神輿・お供浮立が若宮神社を出発し、神幸場まで巡行。祭典を終えた後、奉納余興が行われました。ご一行の皆様、観客の皆様お疲れ様でした。



元気に若宮神社を出発するお供浮立



巡行中のお供浮立



浮立連中の皆さん



奉納余興：本年はオープニングとして、3人によるギターミニライブからスタートし、カラオケ・フラダンス・ドジョウすくいでも盛り上がりしました。



くらしの相談室 開設中

生活される中で、不安・不便・不快と思うことなど、生声をお聞かせください。皆様のこうした声に向き合い、問題を解決、軽減し「人にやさしく、住みよいまち・住みたいまち 伊万里」を創ってまいりましょう。どうぞ、お気軽にお声かけください！

・自宅住所：伊万里市黒川町小黒川456-1
・TEL：0955-27-2355

様式第5号・その5（第7条関係）

（1回1枚作成）

広 報 費

（支出明細書）

広 報 内 容	つかもと博幸 市政だより第6号		
実施年月日	令和 8 年 2 月 9 日		
経 費 明 細 書			
項 目	内 容	金 額 (円)	備 考
活 動 報 告 費 会 費	会場借上料		
	人 件 費		
	茶 菓 子 代		
	そ の 他		
印 刷 費 等	印 刷 代	61,380	1,300部
	コ ピ ー 代		
	用 紙 代		
	消 耗 品		
	そ の 他		
郵 送 代	封 筒 代		
	は が き 代		
	切 手 代		
そ の 他			
合 計		61,380	

TACHIBANA TACHIBANA T 領 収 証 ANA TACHIBANA TACH

つかもと博幸

様

令和 8 年 2 月 7 日

金 額		百万		千		円
			¥	6	1	380

但し、印刷代として



☒現金 ☐小切手 ☐手形 ☐相殺 ☐振込

上記の金額領収致しました。

内 税率	税抜金額
10 %	¥55800
	消費税額
	¥5580

有限会社 立

代表取締役 松

〒848-0027 佐賀県伊万里市
TEL 0955-23-2886/FAX 0955-23-2758
登録番号 T7300002008616

担当者

TACHIBANA TACHIBANA TACHIBANA TACHIBANA TACHIBANA TACH



伊万里市議会ご報告 市政だより



発行所：伊万里市議会議員 **つかもと博幸** 後援会事務所
〒848-0125 伊万里市黒川町小黑川 456-1
TEL ■■■■■ 0955-27-2355



謹んで新春のお慶びを申し上げます

昨年は、6月29日の新聞報道により、伊万里市における産業廃棄物最終処分場建設計画が明らかとなり、「処理水は海に放流される」との内容も含め、多くの皆様が大きな不安と心配を抱かれたことと思います。

その後、市は佐賀県および事業者の同席のもと、市民説明会や地元住民説明会を開催しましたが、十分な理解が得られないまま議論は平行線をたどってきました。

そうした中、市は12月末までに方針を示すとし、県および事業者への確認を経たうえで、計画を受け入れるとの判断を明らかにしました。

今後は、地域代表者等で構成される協議会が設立され、事業者に対する条件提示や環境保全協定の締結に向けた協議が進められる予定です。

私は、皆様の代弁者として、住民の安全・安心な生活を守る立場から、引き続き皆様の生の声に真摯に耳を傾け、誠心誠意取り組んでまいります。

本年が皆様にとって健やかで実り多い一年となりますよう心よりお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

小・中学生の皆さんとの「はたらく人プロジェクト」に参加しました



小学校高学年、中学生の皆さんに、色々な業種で働いている人たちと話す場を持ってもらって、自らの将来を考える上での参考にしようという企画です。

私は、自動車関連会社で45年ものづくり現場での体験談を

テーマにお話ししました。

子どもたちは、興味深そうに熱心に聞いてくれ、真剣なまなざしに触れて、こちらも元気をもらいました。

将来、それぞれ選択された職業での活躍を祈念いたします。

トピックス 1 黒塩地区廃棄物最終処分場建設計画について市の方針示される

1. 伊万里市の判断 (令和7年12月24日新聞報道)

深浦市長が建設計画を受け入れると表明

- 建設計画を受け入れ、市が積極的に関与し、市民の安全・安心を確保しながら、市にとって有益な未来が築けるような形を目指していくべきと判断。

2. 具現化に向けた協議会の設立

黒川町、牧島地区の合同による地域の代表者などで構成する協議会を設立し事業者に対する条件提示や環境保全協定締結に向けた協議を進める。

3. 協議会組織メンバー

区長会、老人クラブ、PTA、子ども会、女性部、青年部、まちづくり団体からなる12名(総勢2地区計24名)を予定。

※アドバイザーとして環境・廃棄物関係の専門家を招聘

- 私も顧問の立場で議論に積極的に関わっていきます！

トピックス 2 裏山の法面が崩れる災害発生！ 懸命な復旧作業で住民の安全・安心確保



数年来の大雨で地盤が緩み、一昨年春の大雨で裏山の法面が突然崩れ、直下の住民様は不安な日々を過ごされていました。

懸命な復旧作業で

安全・安心確保

昨年10月迄の事業者様の懸命な復旧作業により、頑丈な擁壁が完成し、先ずは住民様も安全・安心な生活を送ってられます。



令和7年 12月議会

私の 一般市政質問と 執行部答弁

1. 「廃棄物最終処分場の設置許可に係わる今後の対応

質問：佐賀県産業廃棄物等の適正な処理に関する条例案の内容は。

答弁：市民交流部長

県の許可後に、住民などから、関係地区の範囲や、手続きに対する疑問や意見などが多数あったことから、県はこれまでの指導要綱などを見直し、手続きを明確化した条例案を提示した。

質問：条例制定までのスケジュールは。

答弁：市民交流部長

条例素案のパブリックコメントが既に始まっている。令和8年2月県議会で条例案を上程し、議決後に公布され、同日に施行される。

質問：市民説明会や住民説明会での質問に対し、回答を保留している内容と今後の進め方は。

答弁：市民交流部長

- ▶ 事業者：施設や処分場内の雨水を排水する側溝は、近年の局所的な大雨に耐えられる設計、構造になっているか。
- ▶ 佐賀県：① 黒塩の国道拡幅護岸工事で2か所が未着手であるが、その理由は。
② 7月31日の市民説明会終了後のメール回答に対し、納得できる回答を求める。
③ 専門委員会での委員の質問に対する対応状況の公開を求める。

*回答がまとまり次第、市ホームページに掲載。

質問：説明会での質問や関係諸団体からの要望書の受取り等の民意を受け、今後の市としての方向性は。

答弁：市長

市民の不安の払拭、安全・安心に向け、市議会、区長会連合会との意見交換や、県・事業者の確認を終えた上で、市としての考えを早期に示したい。

【まとめ】

今後、市議会、区長会連合会との意見交換や、県・事業者の確認を終えた後、市としての方向性を表明すると、市長の思いをしっかりと聞かさせていただいた。

伊万里の今後を左右する難しい判断にはなると思うが、熟慮に熟慮を重ねた英断を待つことにする。

2. デジタル時代における行政が提供する情報の在り方

質問：区長や地区役員の皆さんがどのような配布物をどれくらいの頻度や分量で配布されているか。

答弁：総合政策部長

原則毎月2回、月初と中旬に、広報紙や議会だより、各種イベントチラシなどに加え、県民だより、社協だよりといった市以外からの配布物を加えると、一度に15種類以上の配布物をお願いしている。

質問：このような実態の中で、デジタルを活用した情報手段として、タブレットを活用した回覧板の試行を開始されたが、試行結果と明らかになった成果や課題は何か。

答弁：総合政策部長

市内3地区において、住民の方にタブレット端末を貸し出し、回覧板の情報を電子データで配信するという実証実験を行った。その結果として電子データでの回覧は約5割の方が電子データが良いとの一定の評価をいただいた。

質問：デジタル化は進化し続ける。望ましい姿を明確にして、今後、何を、いつまでに、どの様に検討していくのか。

答弁：総合政策部長

電子回覧板の導入には現時点4つの課題がある。

1. 導入等に必要となる費用の問題
2. 情報発信者の選定
3. 情報の管理
4. 利用者の登録

今後、さらに情報発信の電子化が進むとともに、スマートフォンやタブレット端末の普及が拡大し、コミュニティツールの利用は将来において不可欠になることは間違いない。今後、先進自治体の導入事例も参考にしながら十分検討を重ねていく。

【まとめ】

今回は問題提起に留めるが、今後研究を重ねられ、実効上がる業務推進に結びつくことを願います。

大切なふるさとの行事

(令和8年1月11日)



1年間の無病息災、家内安全、五穀豊穡を願い、毎年鬼火焚きを実施しています。

各種団体と共同で
諸活動を展開

田畑を荒らし水路等の崩壊を繰り返す有害鳥獣。引き続き箱罠でイノシシ等の鳥獣を駆除しています。



くらしの相談室 常設

生活される中で、不安・不便・不快と思うことなど、生声をお聞かせください。皆様のこうした声に向き合い、問題を解決、軽減し「人にやさしく、住みよいまち・住みたいまち 伊万里」を創ってまいりましょう。

・自宅住所：伊万里市黒川町小黒川456-1・TEL 0955-27-2355

どうぞ、お気軽にお声かけください！

様式第5号・その9（第7条関係）

（年間分）

そ の 他 の 経 費

（支出明細書）

項 目	内 容	金 額 (円)
通 信 費	携帯電話料	10,897円
	インターネット関連費用	年額 38,170 円×50 % = 19,085円
	タブレット型端末通信料	
合 計		29,982円

【携帯電話料明細】

月	支出額	支出額の1/2	対象経費
4月	1,815	907	907
5月	2,278	1,139	1,139
6月	2,349	1,174	1,174
7月	2,129	1,064	1,064
8月	1,814	907	907
9月	2,163	1,081	1,081
10月	2,294	1,147	1,147
11月	1,971	985	985
12月	1,683	841	841
1月	1,653	827	827
2月	1,650	825	825
3月		0	0
計	21,799	10,897	10,897

備考 対象経費は、支出額の1/2とする。ただし、その額に1円未満の端数があるときは、これを切り捨てるものとし、月額3,000円を限度とする。

848-0125

伊万里市黒川町小黒川 4 5 6 - 1

塚本 博幸 様

入金状況のお知らせ

お支払い日	商 品 名	お支払い金額	備 考
2025年04月30日	ケーブルスマホ利用料	¥556	2025年2月分
	ケーブルスマホ利用料	¥3	2025年3月分
	ケーブルスマホ利用料	¥1,650	2025年4月分
2025年06月02日	ケーブルスマホ利用料	¥2,015	2025年3月分
	ケーブルスマホ利用料	¥3	2025年4月分
	ケーブルスマホ利用料	¥1,650	2025年5月分
2025年06月30日	ケーブルスマホ利用料	¥162	2025年4月分
	ケーブルスマホ利用料	¥3	2025年5月分
	ケーブルスマホ利用料	¥1,650	2025年6月分
2025年07月31日	ケーブルスマホ利用料	¥625	2025年5月分
	ケーブルスマホ利用料	¥3	2025年6月分
	ケーブルスマホ利用料	¥1,650	2025年7月分
2025年09月01日	ケーブルスマホ利用料	¥696	2025年6月分
	ケーブルスマホ利用料	¥4	2025年7月分
	ケーブルスマホ利用料	¥1,650	2025年8月分
2025年09月30日	ケーブルスマホ利用料	¥475	2025年7月分
	ケーブルスマホ利用料	¥4	2025年8月分
	ケーブルスマホ利用料	¥1,650	2025年9月分
2025年10月31日	ケーブルスマホ利用料	¥160	2025年8月分
	ケーブルスマホ利用料	¥4	2025年9月分
	ケーブルスマホ利用料	¥1,650	2025年10月分
2025年12月01日	ケーブルスマホ利用料	¥509	2025年9月分
	ケーブルスマホ利用料	¥4	2025年10月分
	ケーブルスマホ利用料	¥1,650	2025年11月分
2026年01月05日	ケーブルスマホ利用料	¥640	2025年10月分
	ケーブルスマホ利用料	¥4	2025年11月分
	ケーブルスマホ利用料	¥1,650	2025年12月分
2026年02月02日	ケーブルスマホ利用料	¥317	2025年11月分
	ケーブルスマホ利用料	¥4	2025年12月分
	ケーブルスマホ利用料	¥1,650	2026年1月分
2026年03月02日	ケーブルスマホ利用料	¥29	2025年12月分
	ケーブルスマホ利用料	¥3	2026年1月分
	ケーブルスマホ利用料	¥1,650	2026年2月分
	合 計	¥24,373	

貴殿よりご要望のあった当社に対する利用料金の
入金状況は、上記のとおり相違ありません。

2026年3月4日

伊万里ケーブルテレビジョン 株式
伊万里市立花町 1 5 4 2 番地 8
TEL 0 9 5 5 - 2 2 - 3 5 0 6

848-0125
伊万里市黒川町小黒川456-1

塚本 博幸 様

入金状況のお知らせ

お支払い日	商 品 名	お支払い金額	備 考
2025年04月30日	インターネット利用料	¥3,080	2025年4月分
	インターネットオプション	¥440	2025年4月分
2025年06月02日	インターネット利用料	¥3,080	2025年5月分
	インターネットオプション	¥440	2025年5月分
2025年06月30日	インターネット利用料	¥3,080	2025年6月分
	インターネットオプション	¥440	2025年6月分
2025年07月31日	インターネット利用料	¥3,080	2025年7月分
	インターネットオプション	¥440	2025年7月分
2025年09月01日	インターネット利用料	¥3,080	2025年8月分
	インターネットオプション	¥440	2025年8月分
2025年09月30日	インターネット利用料	¥3,080	2025年9月分
	インターネットオプション	¥440	2025年9月分
2025年10月31日	インターネット利用料	¥3,080	2025年10月分
	インターネットオプション	¥330	2025年10月分
2025年12月01日	インターネット利用料	¥3,080	2025年11月分
	インターネットオプション	¥330	2025年11月分
2026年01月05日	インターネット利用料	¥3,080	2025年12月分
	インターネットオプション	¥330	2025年12月分
2026年02月02日	インターネット利用料	¥3,080	2026年1月分
	インターネットオプション	¥330	2026年1月分
2026年03月02日	インターネット利用料	¥3,080	2026年2月分
	インターネットオプション	¥330	2026年2月分
	合 計	¥38,170	/

貴殿よりご要望のあった当社に対する利用料金の
入金状況は、上記のとおり相違ありません。

2026年3月4日

伊万里ケーブルテレビジョン 株式
伊万里市立花町1542番地8
TEL 0955-22-3506